

リハビリテーション学部 シラバスの変更一覧

専攻	学年	ページ	科目名
PT	1年	12	理学療法学専攻1年生 年間予定表
OT	1年	14	作業療法学専攻1年生 年間予定表
PT・OT	1年	27	経済と政策
PT・OT	1年	28	社会学

2024年度 リハビリテーション学部 理学療法学専攻1年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	31	1	2	3	入学式	4	オリテ
	7	8	健康診断	9	オリテ	10	オリテ
	14	15	①	16	①	17	①
	21	22	②	23	B型肝炎ワクチン接種1回目	24	②
	28	29	昭和の日	30		1	2
5月	5	こどもの日	6	振替休日	7	③	8
	12		13	③	14	④	15
	19		20	④	21	⑤	22
	26		27	⑤	28	⑥	29
6月	2		3	⑥	4	⑦	5
	9		10	⑦	11	⑧	12
	16		17	⑧	18	⑨	19
	23		24	⑨	25	⑩	26
7月	30		1	⑩	2	⑪	3
	7		8	⑪	9	⑫	10
	14		15	海の日	16	⑬	17
	21		22	⑬⑭	23	⑭	24
	28		29	⑭⑮	30	⑮	31
8月	4		5		6		7
	11	山の日	12	振替休日	13		14
	18		19	定期試験	20	定期試験	21
	25		26		27	結果発表	28
9月	1		2	再試験	3	再試験	4
	8		9		10		11
	15		16	敬老の日	17		18
	22	秋分の日	23	振替休日	24	臨床実習 I	25
	29		30	-			

2024年度 リハビリテーション学部 理学療法学専攻1年生 年間予定表

後期

	日	月	火	水	木	金	土	
10月	29	30	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	スポーツの日	15 ①	16 ①	17 B型肝炎ワクチン接種3回目	18 ①	19
	20	21	①	22 ②	23 ②	24 ②	25 ②	26
	27	28	②	29 ③	30 ③	31 ③	1 ③	2
11月	3	文化の日	4 振替休日	5 ④	6 ④	7 ④	8 ④	9
	10		11 ③	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑤	15 ⑤	16
	17		18 ④	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑥	22 ⑥	23 勤労感謝の日
	24		25 ⑤	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑦	29 ⑦	30
12月	1	2	⑥	3 ⑧	4 ⑧	5 ⑧	6 ⑧	7
	8	9	⑦	10 ⑨	11 ⑨	12 ⑨	13 ⑨	14
	15	16	⑧⑨	17 ⑩	18 ⑩	19 ⑩	20 ⑩	21
	22	23	⑩⑪	24 ⑪	25 ⑪	26 ⑪	27 ⑪	28
	29	30		31	1 元旦	2	3	4
1月	5	6		7 ⑫	8 ⑫	9 ⑫	10 ⑫	11
	12	13	成人の日	14 ⑬	15 ⑬	16 ⑬	17 ⑬	18
	19	20	⑫⑬	21 ⑭⑮	22 ⑭⑮	23 ⑭⑮	24 ⑭⑮	25
	26	27	⑭⑮	28	29	30	31	1
2月	2	3	定期試験	4 定期試験	5 定期試験	6 定期試験	7 定期試験	8
	9	10	定期試験	11 建国記念の日	12	13	14 結果発表	15
	16	17	(補講)	18 (補講)	19 (補講)	20 再試験	21 再試験	22
	23	天皇誕生日	24 振替休日	25 再試験	26 再試験	27	28	1
3月	2	3		4	5	6	7	8
	9	10		11	12	13	14	15
	16	17		18 卒業式	19	20 春分の日	21	22
	23	24		25	26	27	28	29
	30	31						

2024年度 リハビリテーション学部 作業療法学専攻1年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	31	1	2	3	入学式	4	オリテ
	7	8	健康診断	9	オリテ	10	オリテ
	14	15	①	16	①	17	①
	21	22	②	23	B型肝炎ワクチン接種1回目	24	②
	28	29	昭和の日	30		1	2
5月	5	こどもの日	6	振替休日	7	③	8
	12		13	③	14	④	15
	19		20	④	21	⑤	22
	26		27	⑤	28	⑥	29
6月	2		3	⑥	4	⑦	5
	9		10	⑦	11	⑧	12
	16		17	⑧	18	⑨	19
	23		24	⑨	25	⑩	26
7月	30		1	⑩	2	⑪	3
	7		8	⑪	9	⑫	10
	14		15	海の日	16	⑬	17
	21		22	⑬⑭	23	⑭	24
	28		29	⑭⑮	30	⑮	31
8月	4		5		6		7
	11	山の日	12	振替休日	13		14
	18		19	定期試験	20	定期試験	21
	25		26		27	結果発表	28
9月	1		2	再試験	3	再試験	4
	8		9		10		11
	15		16	敬老の日	17		18
	22	秋分の日	23	振替休日	24	臨床実習 I	25
	29		30	-			

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	ReLc03				
	●									
科目名	経済と政策				単位認定者	岩 淵 修		試験(レポート)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	P T	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
	O T	必修	1年			授業時間数	15 時間			%
				授業形態	講義	授業回数	8 回			%
授業の概要	<p>一国の経済全体の動きのメカニズムを分析するマクロ経済学の基本的な概念や考え方を学び、経済を見る視点の基礎的な素養を身につける。財政政策、金融政策、産業政策、社会保障制度改革等をキーワードに日本経済の現状や課題を理解し、さらに、世界全体が直面するエネルギー・資源・環境問題や国際社会の動向についても取り上げ、日本経済の展望について考える。</p>									
到達目標	<p>マクロ経済学とマクロ経済政策についての基本的知識を理解すること。その上で、日本経済の長期停滞、デフレ、人口減少、少子高齢化といった厳しい現実の下で、「政策」がどのような可能性を秘めているかを自分で考える。</p>									
学修者への期待等	<p>日常のニュースに関心を持ち、日本の戦後の経済史や時事問題、経済データに興味を持つこと。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	「経済」と「経済学」の関係、ストックとフローや国民所得概念				日本や世界各国の経済データを調べる。(概ね15分)					
2	ケインズ経済学の単純なモデルである45度線分析				経済学説上でのケインズについて調べる。(概ね15分)					
3	IS-LM分析モデルと経済政策の効果				基本的な財政政策と金融政策について調べる。(概ね15分)					
4	AD-AS分析モデルと物価				現在のデフレと失業率について調べる。(概ね15分)					
5	戦後日本経済史とバブル				バブル時代の日本の状況について調べる。(概ね15分)					
6	バブルの崩壊と日本の長期停滞				「失われた30年」の経済成長率とデフレについて調べる。(概ね15分)					
7	伝統的金融政策と異次元の金融政策				異次元の金融政策について調べる。(概ね15分)					
8	財政政策と日本の累積国債残高				現在の日本の財政状況を調べる。(概ね15分)					
教科書	なし									
参考文献	『ケインズ』伊東光晴 岩波新書 『マクロ経済学』斎藤誠その他 有斐閣									
備考	PT・OT合同授業									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	ReLc05				
	●			●						
科目名	社会学				単位認定者	小野寺 修		試験（レポート）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	P T	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
	O T	選択	1年			授業時間数	15 時間			%
				授業形態	講義	授業回数	8 回			%
授業の概要	この科目は、社会学の理念・理論・全体構造といった基礎的な知識を学び、現代において多様化する社会的諸問題について考える。身近な問題として、ジェンダー、子どもの貧困、多様化する家族、難民、多文化、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）等をテーマに、幅広く学び、社会問題について、自ら考える力を養う。									
到達目標	社会とは何か、社会学の考え方を学ぶことで、社会的な視点から検討し、論理的に説明することができる。									
学修者への期待等	みなさんが普段暮らしている社会をじっくり見つめて、これまであたりまえに考えてきたことが果たしてあたりまえなのかを考えてみてください。社会は日々動いています。社会の現象や世の中の流れを注視してください。									
回	授業計画				準備学修					
1	社会とは何か（基礎理論・用語）				【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
2	共生とは何か				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
3	多文化共生（地域社会とエスニシティ）				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
4	マイノリティ（マイノリティとは誰のことか）				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
5	ジェンダー（男らしさ・女らしさ）				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
6	家族（多様な家族像）				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
7	社会調査（何を調べるのか）				【事前】講義テーマの下調べ（概ね30分） 【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
8	講義のまとめ				【事後】講義内容の復習（概ね1時間）					
教科書	特に指定しません。必要な教材はこちらで準備します。									
参考文献	『よくわかる社会学 第3版』宇都宮京子・西澤晃彦編著、ミネルヴァ書房 『大学生のための社会学入門』篠原清夫・栗田真樹編著、光洋書房 『社会学』奥井智之、東京大学出版会									
備考	PT・OT合同授業 ・受講者の理解度および授業の進捗によって、内容を変更することがあります。 ・課題に対する講評等は、授業内またはLMSにて、個別もしくは全体にフィードバックします。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--